

「いざっ」というときに備えて

自主防災会の活動に参加を！

大地震などの災害が発生した場合、消防署など防災関係機関は、全力を挙げて防災活動を行います。道路の不通、火災の同時多発、水道管の破損などの悪条件が重なり、動こうにも動けない事態となる可能性があります。

こんなとき、どうしたらよいでしょうか。自分の身は自分で守る「自主防災」しかないのです。しかし一人ひとりの力には限界があり、逆に危険な場合もあります。みんなが地域ぐるみで協力し合って、統率のある行動をとることにより、初めて一人ひとりの力が生きてくるのです。

今回は不測の事態に備える自主防災会の活動と、その感想をお知らせします。

古田西自主防災会

5月27日(日)
防災資機材の点検と取り扱い訓練
7月17日(火)
古田西分団と災害時の対応に



消火器を使った消火訓練

ついで協議。消火栓の取り扱い訓練。
8月13日(月)
自治会夏まつりに協賛し、炊き出し訓練
9月15日(土)
山崎町防災センターを見学し、地震の強度などを体験。
9月16日(日)
消火器を使った消火訓練。
10月7日(日)
自治会内で大規模地震を想定し、大掛かりな防災訓練を実施。10月の防災訓練には100人以上の会員が参加し、防災意識の向上が図られた。これから各種団体と相互に連携を強めていきたい。

本荘県住自主防災会



消防団による指導

9月9日(日)
防災資機材の点検。
10月7日(日)
防災について懇談会。

石ヶ池自主防災会



放水訓練の様子

11月4日(日)
宮北分団の指導のもと、消火器による消火訓練。

駅西自治会自主防災会

11月24日(土)
駅西分団による、消火器の期限切れチェックと販売斡旋。
限切れチェックと販売斡旋。
（株）日本テルベン化学工業（6人）の指導のもと、消火器を使った消火訓練と防災資機材の点検を行う。

7月1日(日)
消火栓・防火水槽・格納箱などの場所確認。宮北分団の指導による、放水訓練・バケツリレー訓練および防災資機材の点検。バケツリレーなどの訓練で参加者の防災に対する意識が変わった。これからも、どんどん「いざっ」というときに備えるように訓練や講習会を持ちたい。



バケツリレーで広がる防災意識

その他の自主防災会

- 本荘中自治会自主防災会
- オリーブハイツ土山管理組合自主防災会
- 鹿の川自主防災会
- 宮の裏自主防災会
- 緑ヶ丘自治会自主防災会
- 野添中部自主防災会
- 大中国地自主防災会
- 野添県住自主防災会
- 野添高山自主防災会
- サニ一八ウス土山自主防災会
- 二子北自主防災会
- 蓮池自主防災会
- 宮西自主防災会
- 本荘西自主防災会
- 城自治会自主防災会
- 新池自治会自主防災会
- 川端自治会自主防災会
- 本荘北自主防災会
- 古田東部連合自治会自主防災会
- 富山自主防災会
- 古宮第3自主防災会
- 五反田自治会自主防災会
- 二子自主防災会
- 本荘東自主防災会
- 学園前自治会自主防災会
- 古宮第1自主防災会
- 古宮第2自主防災会
- 大中西自主防災会
- 大中東自治会自主防災会
- 播磨苑自治会自主防災会
- 駅東地区自主防災会

今年度組織された自主防災会

- 北池自治会自主防災会
 - 本荘南自治会自主防災会
 - 新野添自主防災会
 - 土山駅前自主防災会
 - 本荘古田南自主防災会
 - サンシティ本荘自主防災会
 - 城の宮団地自治会自主防災会
- 今年度新たに、右の7自主防災会が設立されました。これで、47自治会中、45自治会により、44自主防災会が組織化されています。

その他の訓練および研修会など

9月4日(火)
平成13年度合同防災訓練に参加

播磨町消防団員募集

播磨町消防団は、現在11分団、404人の団員で構成され、火災の予防と消火、水害などの警戒と防衛にあたり、住民が安心して暮らせるよう願って活動しています。

消防団と消防署は、消防体制の両輪といわれ、重要な役割を担っています。そんな魅力的な消防団に、あなたも参加して活躍してみませんか。

対象者は、18歳から50歳まで。身分は、非常勤の特別職となり、公務災害補償などの制度が適用



整列する団員たち



三角巾の使い方を学ぶ

加（JR大久保駅南マイカル明石周辺）
12月8日(土)
自主防災組織中核リーダー研修会（県消防学校）

各消防分団または住民課へ
お問い合わせ
0794(35)2363

播磨南中学校で合同防災訓練

阪神・淡路大震災から7年目を迎えた1月17日（木）、播磨南中学校で震度5以上の地震があり、火災も発生するという想定で防災訓練が行われました。

訓練では、一人の生徒がけがをして校舎内に取り残されていると想定し、救助班により担架で搬出して応急手当が施されました。さらに、校舎屋上から救助を求めるけが人が発見され、はしご車が出動して救出し、救急車で搬送されました。

次に校舎から火災が発生したとして、自主防災の方々によるバケツリレー、教員による屋内消火栓での初期消火活動、通報を受けて出動した消防ポンプ車による放水と迫真の訓練に、見学している生徒たちも真剣なまなざしで見入っていました。



防災への誓い新たに

消防出初め式

1月6日（日）午前10時から蓮池小学校グラウンドで新年恒例の「平成14年消防出初め式」（加古郡消防協会主催）が行われ、播磨・稲美両町の消防団員ら関係者約500人が参加しました。

式典の後に分列行進が行われ、播磨町から永年にわたり消防活動に精励した消防団員23人、分団2分団が表彰されました。

また、八木郡協会長から式辞があり、団員たちは、災害・火災のないまちづくりへの誓いを新たにしました。

